

# 1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立岡山西支援学校	実践者名	渡邊 賢尚
実践場面	国語・算数		
単元・題材名	「形で分けよう」		
学習目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示された形を見分けて、同じ形同士を分別することができる。</li> <li>・端末の操作方法が分かり、落ち着いて活動を行うことができる。</li> </ul>		
対象の児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部児童5年生男子3名、4年生男子1名、女子1名の計5名</li> <li>・本グループの児童は指導要領小学部2段階である。</li> </ul>		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
<p>アプリ「乗り物パズル」を使用し、影に合わせて正しい形をマッチングさせる活動を行った。</p> <p>&lt;当アプリを選んだ理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスや電車等、乗り物を好む児童がいた。</li> <li>・本校でダウンロードできるアプリから探したところ、児童の実態に合っているアプリであると考えた。</li> <li>・○や□等の形分けをこれまで行っていたため、「正しい形を選ぶ」活動は見通しを持ちやすいと考えた。</li> </ul>			
			
<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の活動では不意に集中が途切れて活動を中断してしまう児童がいるが、本活動の約5分間は誰も立ち上がることなく、集中して活動を続けることができた。</li> <li>・端末の操作に慣れている児童と不慣れな児童がいたため、教師が操作を例示することで、全員がスムーズに操作をすることができた。</li> </ul>			
活用のポイント・改善策等			
<p>&lt;活用のポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本アプリは無料であるが、アプリと関係のない広告が画面に表示されるため、iPadの機能「アクセスガイド」を利用し、広告部分をタップできないようにした。事前に、教師自身が、操作方法の確認を行ったことで、授業を滞ることなくスムーズにアプリを活用させることができた。</li> </ul> <p>&lt;改善点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初、児童の実態にあったアプリを見つけるのに時間を要した。児童の実態や学習活動に応じたアプリを選択できるように、今後も自身の知見を広めたい。</li> </ul>			